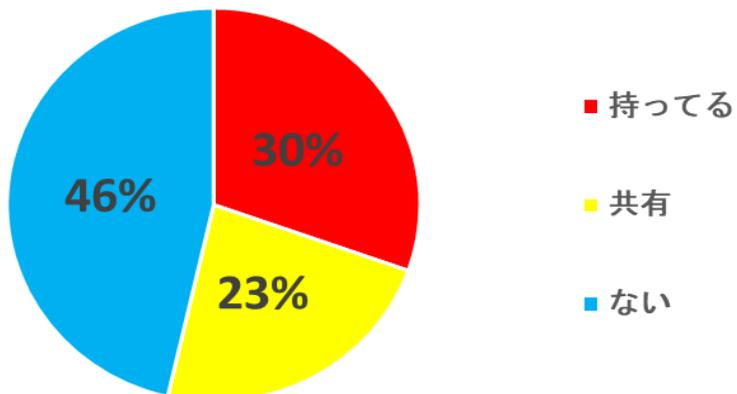


「スマホ、タブレット、ゲーム機等に関するアンケート」2024  
〈野々市市小中学校保護者アンケートより〉

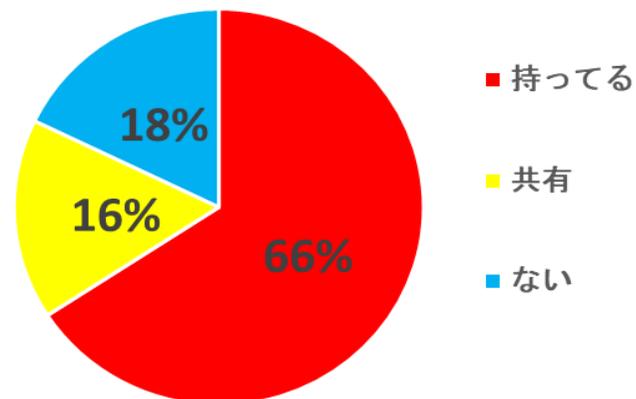
小学1年	191 人	中学1年	310 人
小学2年	182 人	中学2年	247 人
小学3年	232 人	中学3年	256 人
小学4年	186 人		
小学5年	211 人		
小学6年	209 人	計	2,024 人

## 問①お子様が使える携帯電話(スマホ等)はありますか？

小学生保護者

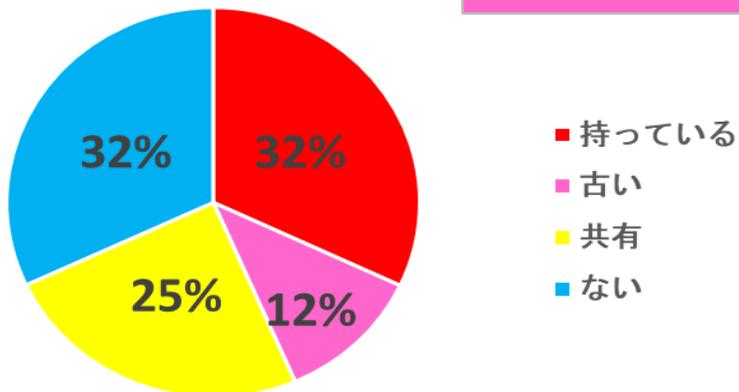


中学生保護者



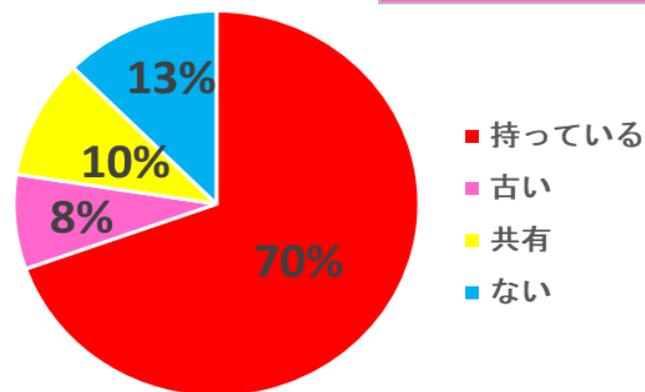
小学生

児童・生徒の回答



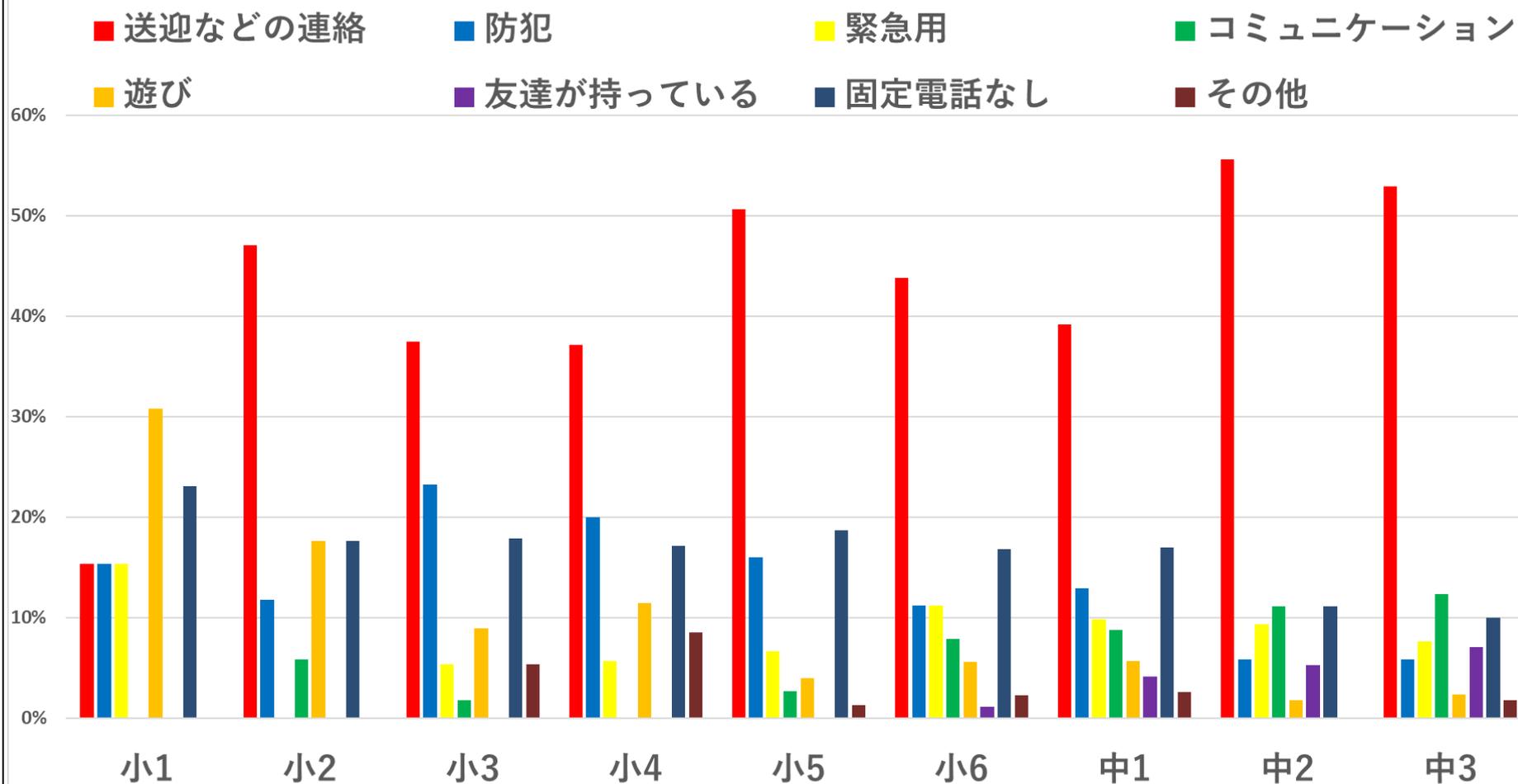
中学生

児童・生徒の回答



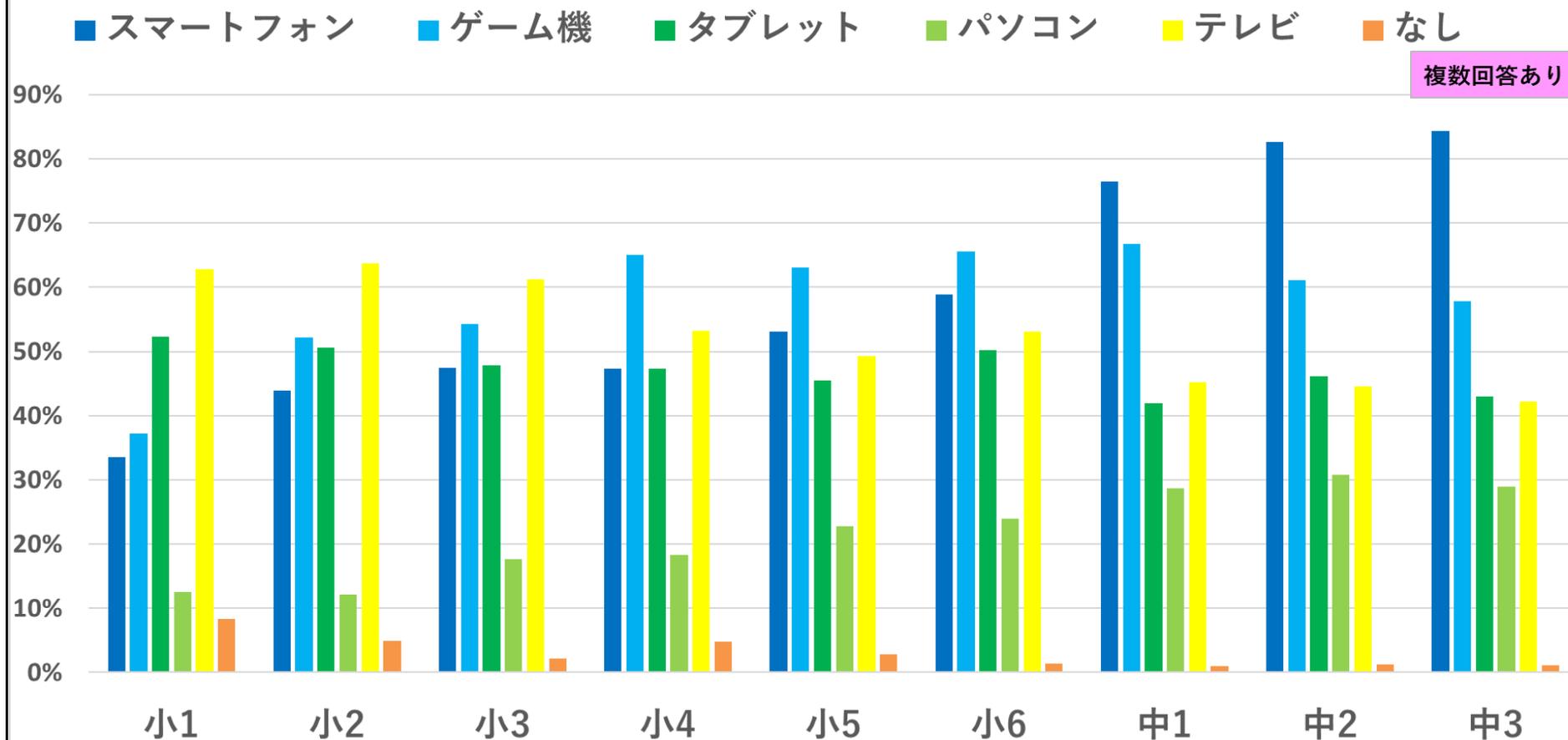
子どもと保護者の間でスマホの所有状況に関する認識に誤差がある。子どもはスマホを日常的に使用している時間が長いため「自分専用」と見なすことが多い。こうしたギャップを埋めるためには、家庭内のコミュニケーションが重要で、明確なルールや共通認識を持つことが必要。

## 問①-2 どのような理由(目的)で携帯電話(スマホ)を持たせていますか？



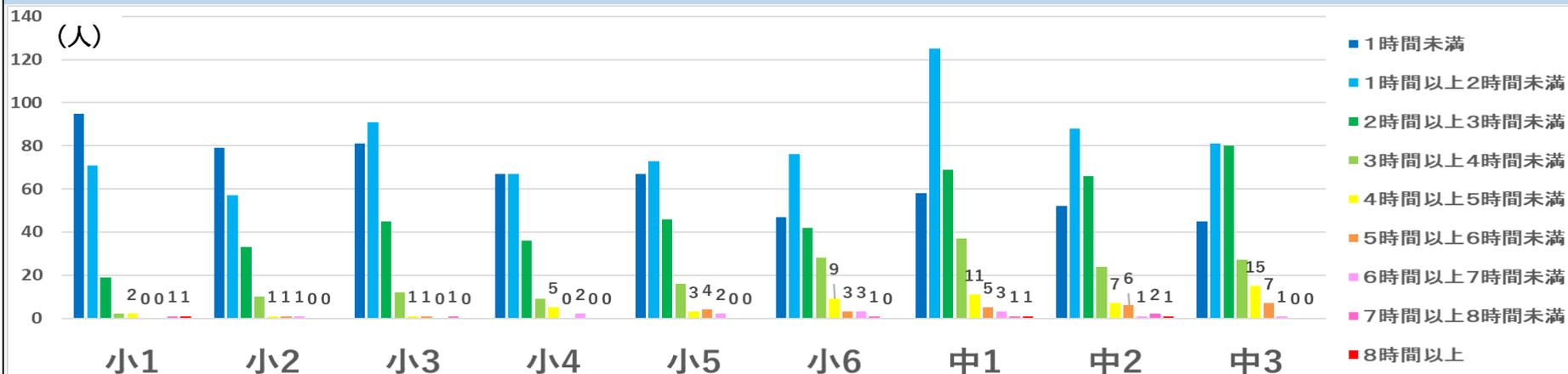
小1では「遊び」がトップ。小2からは「学校や習い事などの送迎で連絡がとれるようにするため」が多くなり、「固定電話がないため」など連絡ツールとして持たせている保護者が多い。

## 問②お子様が利用できるインターネット環境は何ですか？

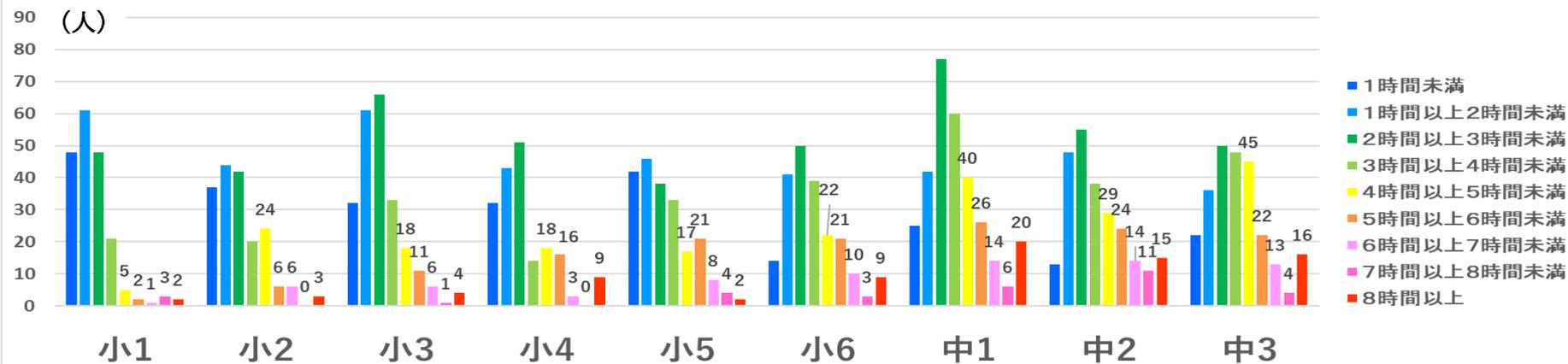


小学校低学年までは「テレビ」がトップだが、高学年では「ゲーム機」、中学生になるとスマホでインターネットに接続することが増える。

### 問③-1 平日 (SNSやゲーム、動画視聴など、学習以外で使う時間)

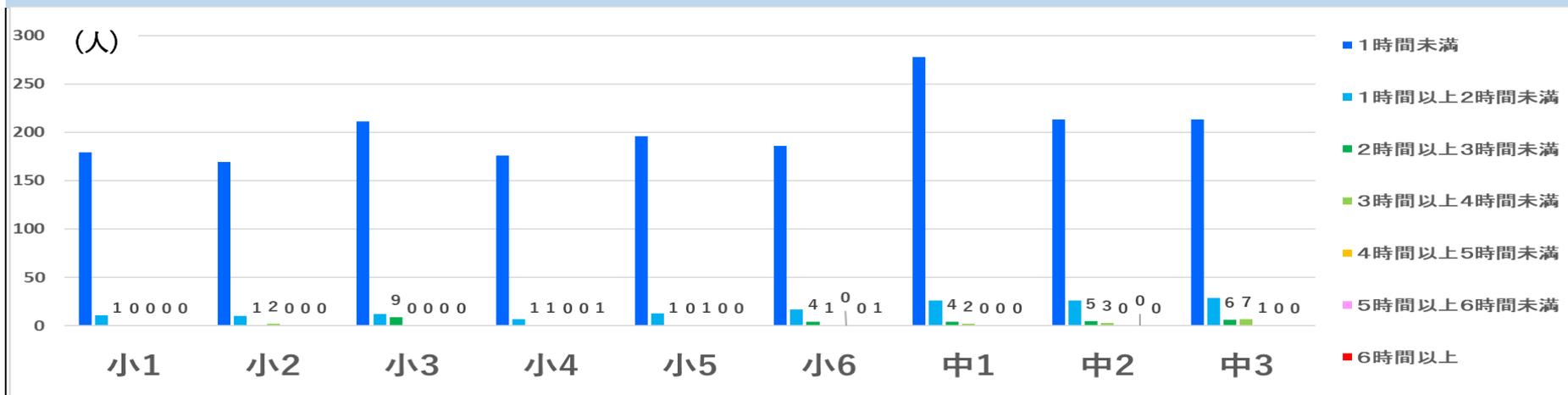


### 問③-2 休日 (SNSやゲーム、動画視聴など、学習以外で使う時間)

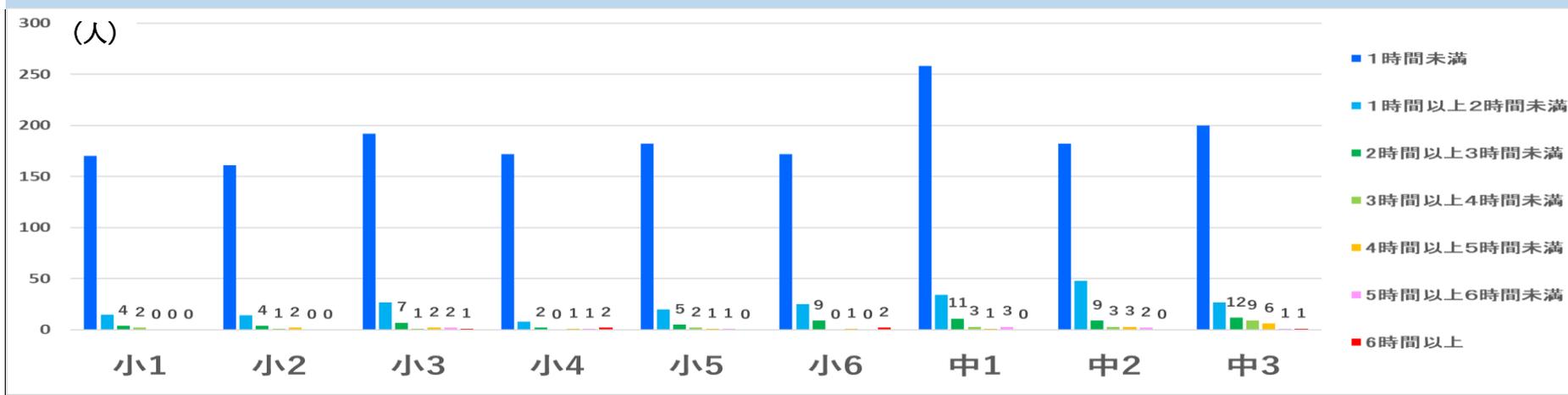


全学年において平日の長時間使用が見られる。休日になると全体的に更に長時間使用が目立つ。

### 問③-3 平日(家庭学習でパソコン、タブレット等のICT機器を使う時間)

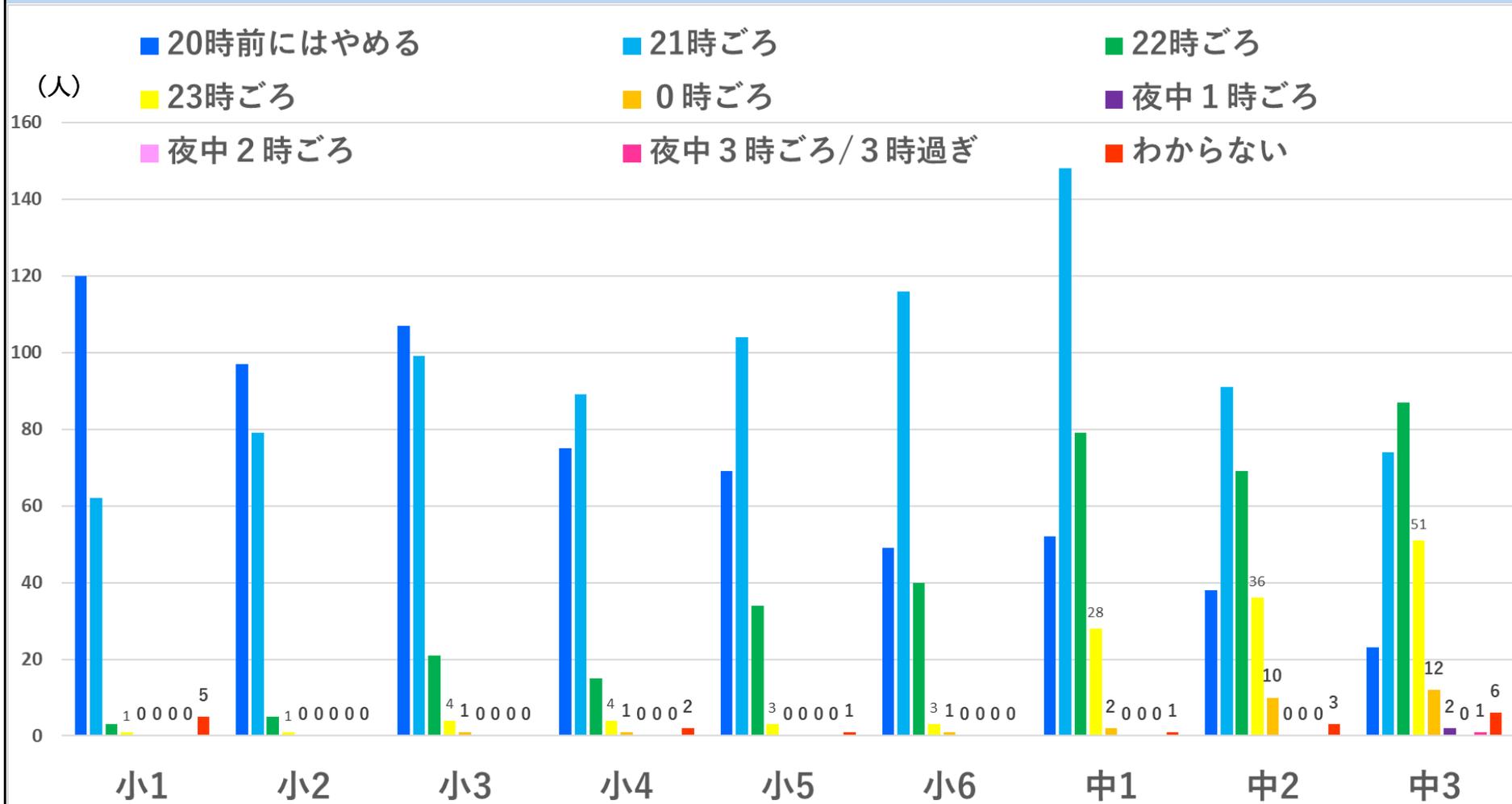


### 問③-4 休日(家庭学習でパソコン、タブレット等のICT機器を使う時間)



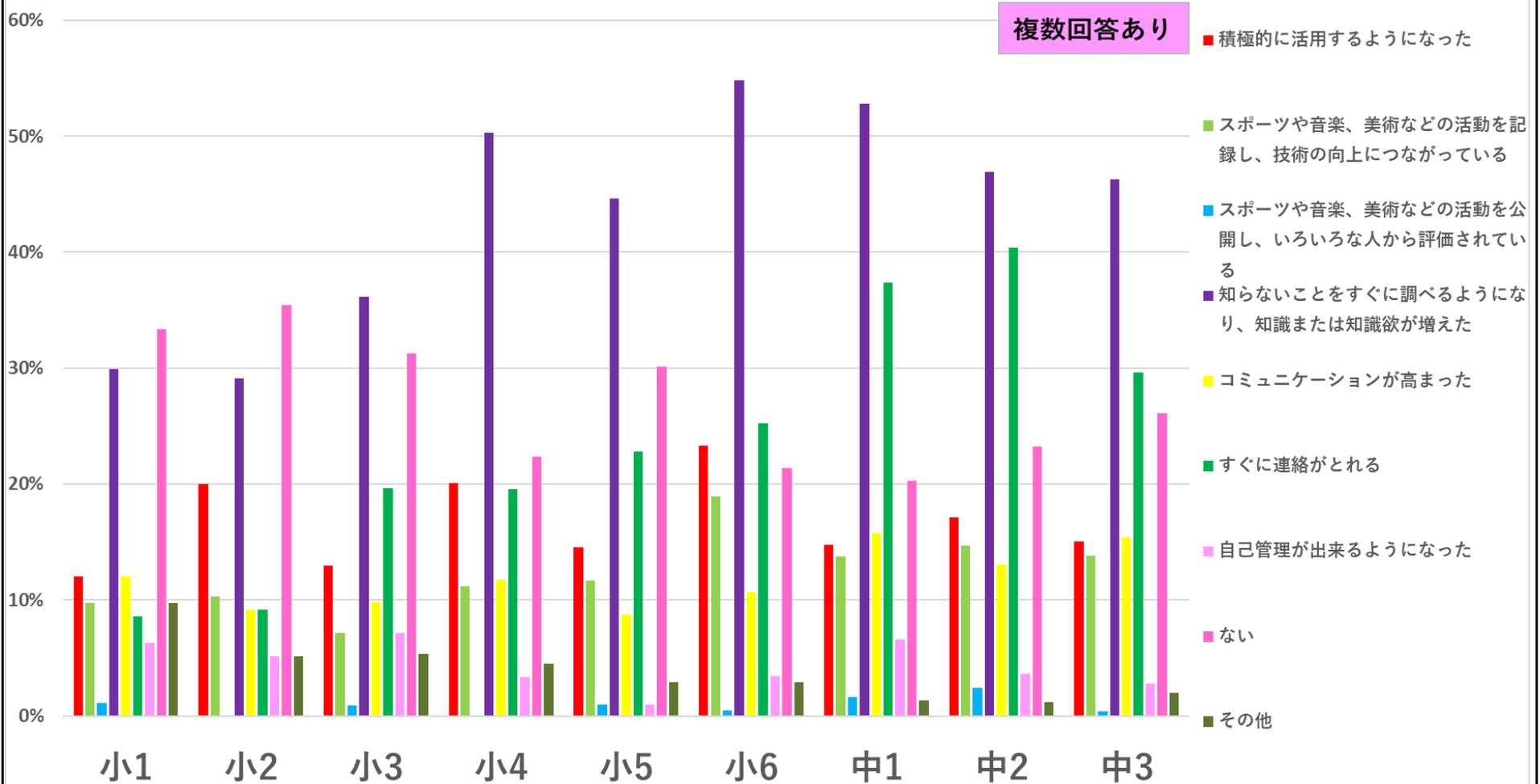
平日、休日ともに学年を問わず、家庭学習でICT機器を使う時間は少ない。

### 問④お子様は平日の夜、ゲームや動画視聴、SNSなどを何時頃までやっていますか？



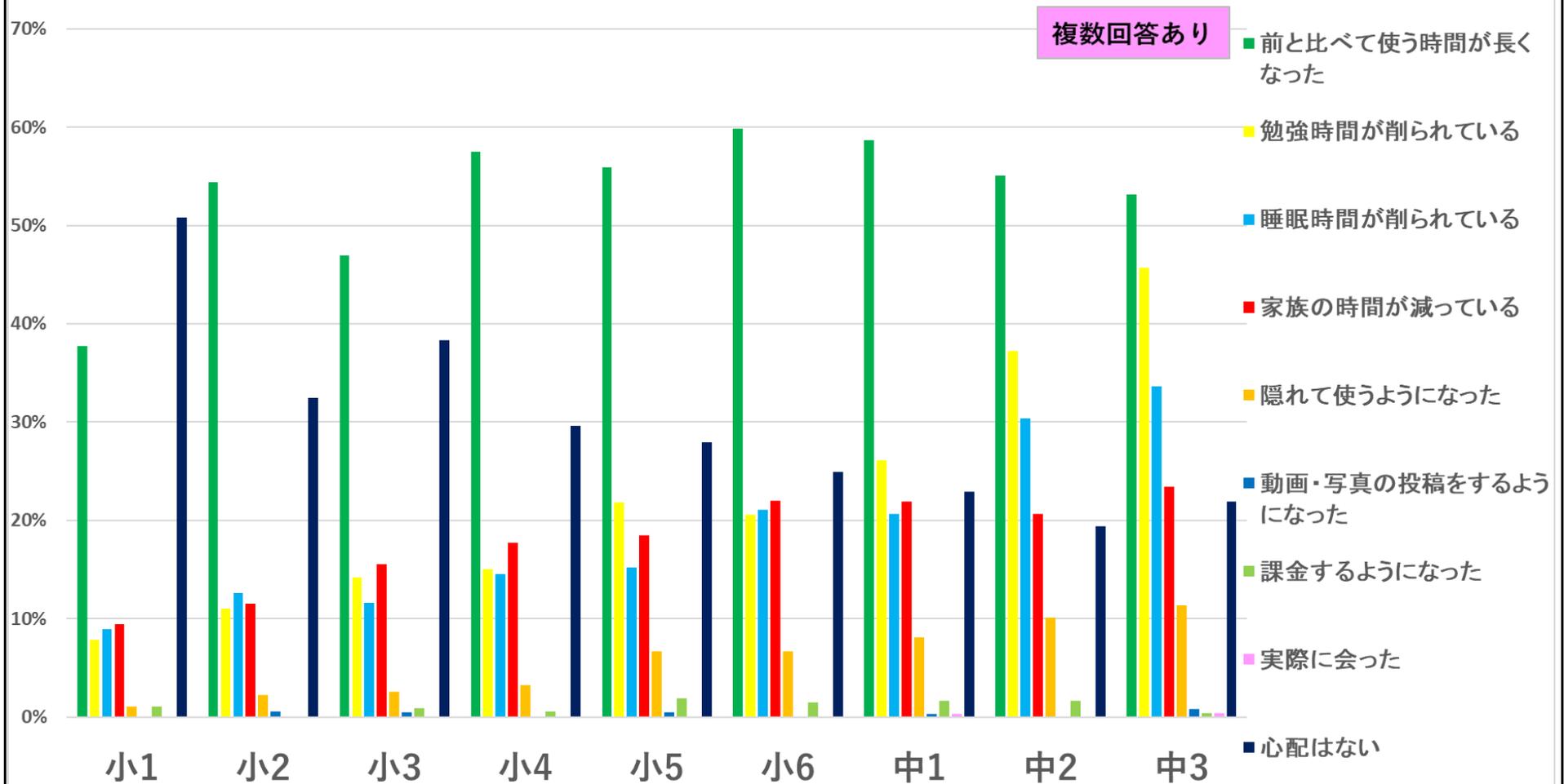
平日は、中学1年生までの多くが21時頃までの使用で、中学生になると22～23時までの使用が増える。子どもの使用時間がわからない保護者がいることから更に啓発が必要。

問⑤お子様がスマートフォンやパソコン、タブレット等を使うようになって良かったと感じていることはありますか？



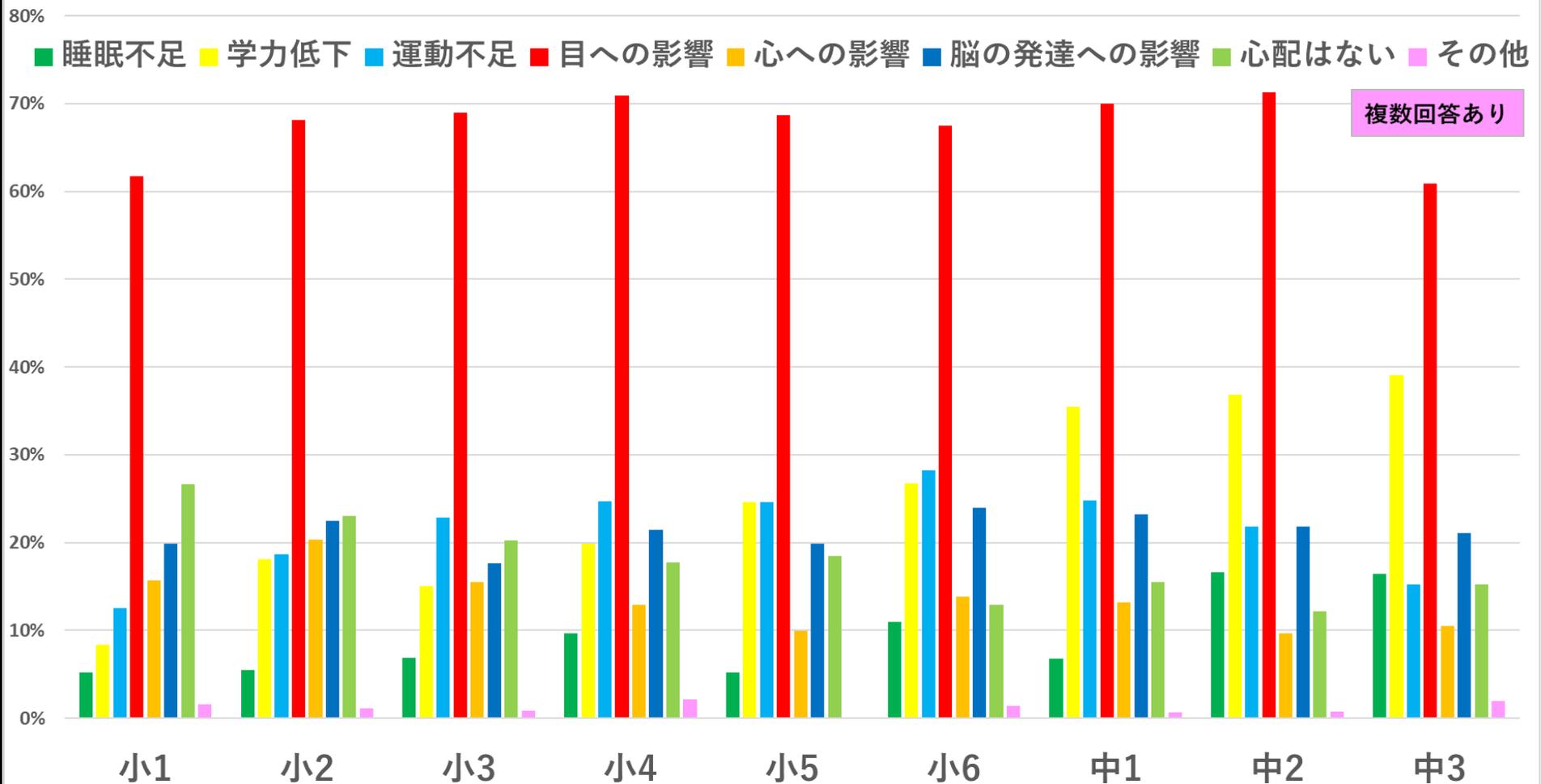
学年が上がるにつれて「すぐに調べる、知識または知識欲が増えた」が増える。中学生になると連絡ツールとして活用されている。保護者の25%が「ない」の回答だが、子ども自身の活動としてICT機器活用があることが明らかである。

## 問⑥お子様のインターネットやゲーム機等の使い方に関して心配なことはありますか？



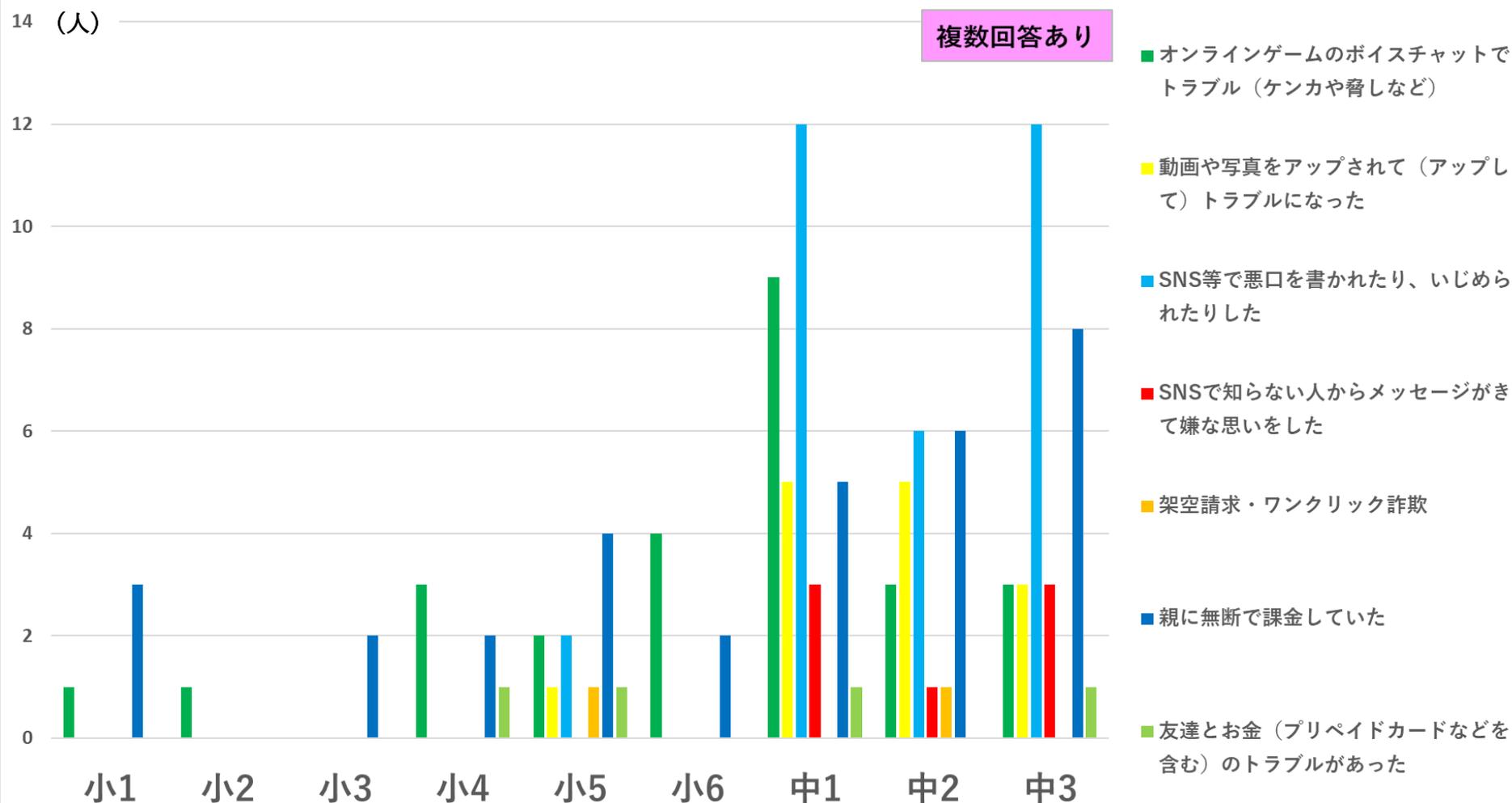
「使用時間の増加」を心配する意見が一番多い。中学生では「勉強時間」「睡眠時間」が削られていることを心配している保護者が多くなる。ほとんどが時間に関する心配事だが、中学生になると「隠れて使う」心配が増える。

## 問⑦お子様のインターネットやゲーム機等の利用について健康面などで心配なことはありますか？



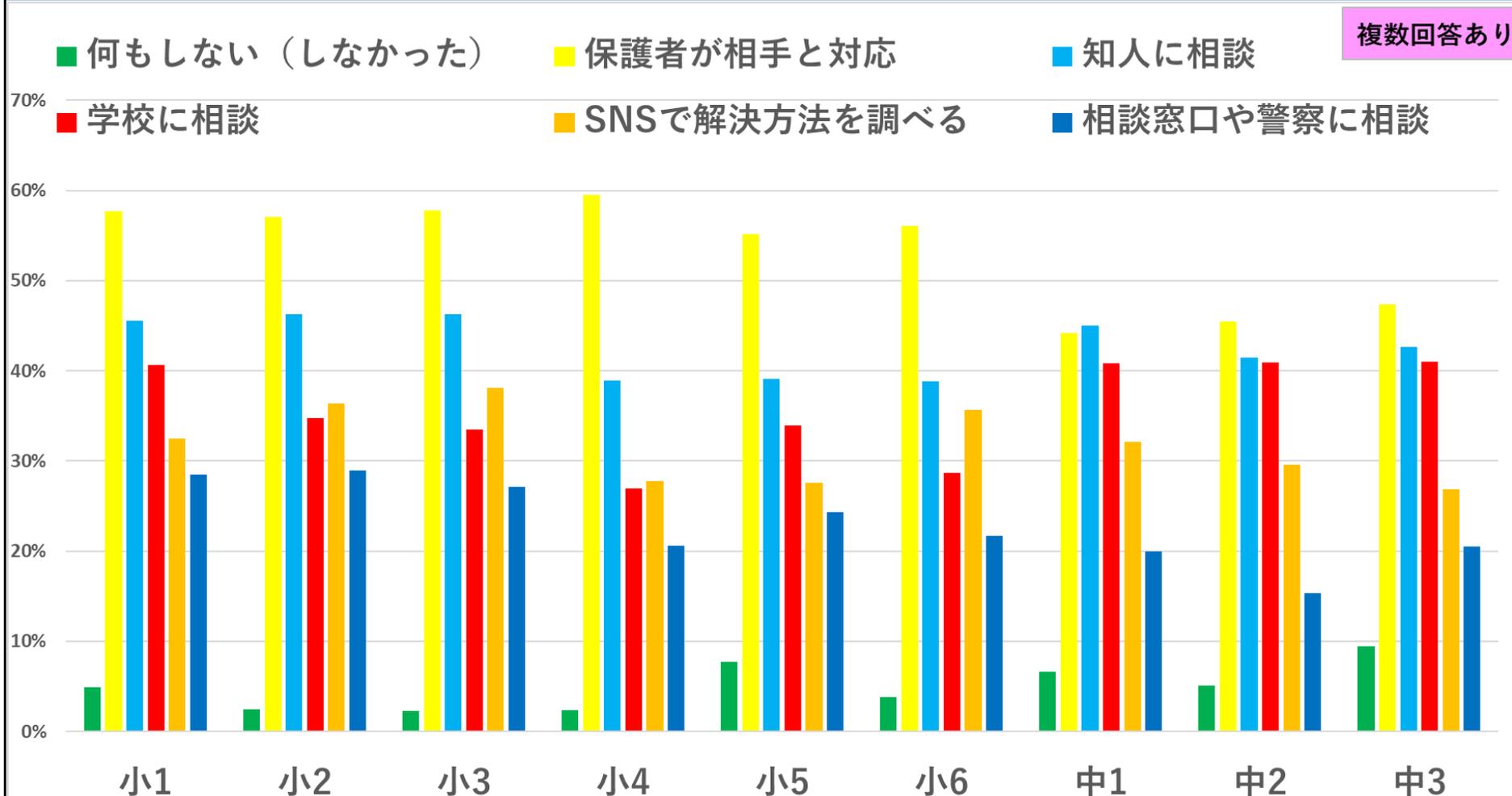
全ての学年において眼への影響を心配する保護者が1番多い。学年が上がるにつれて学力低下を心配しているが、18%の保護者は「約束やマナーを守っているので心配はない」と回答。

## 問⑧お子様に実際にトラブルが起きたことはありますか？



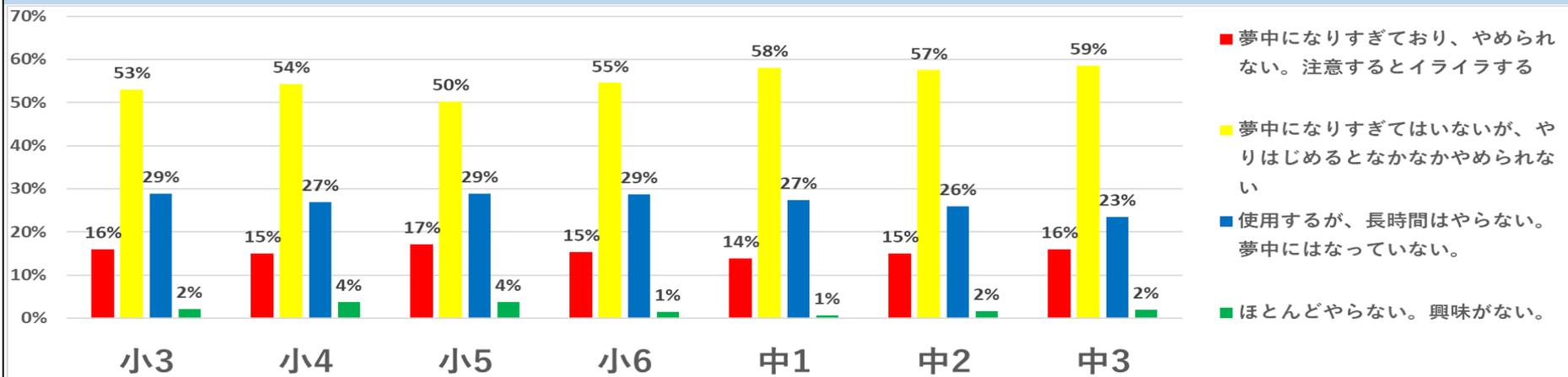
トラブルの件数は少ないが、全学年ゲームのボイスチャットと課金のトラブルが見られる。また、中学生になるとSNS関係のトラブルが急増することから、家庭などで子どもが相談しやすい環境づくりが必要。

## 問⑨お子様に実際トラブルが起きたらどうしますか(どうしましたか)

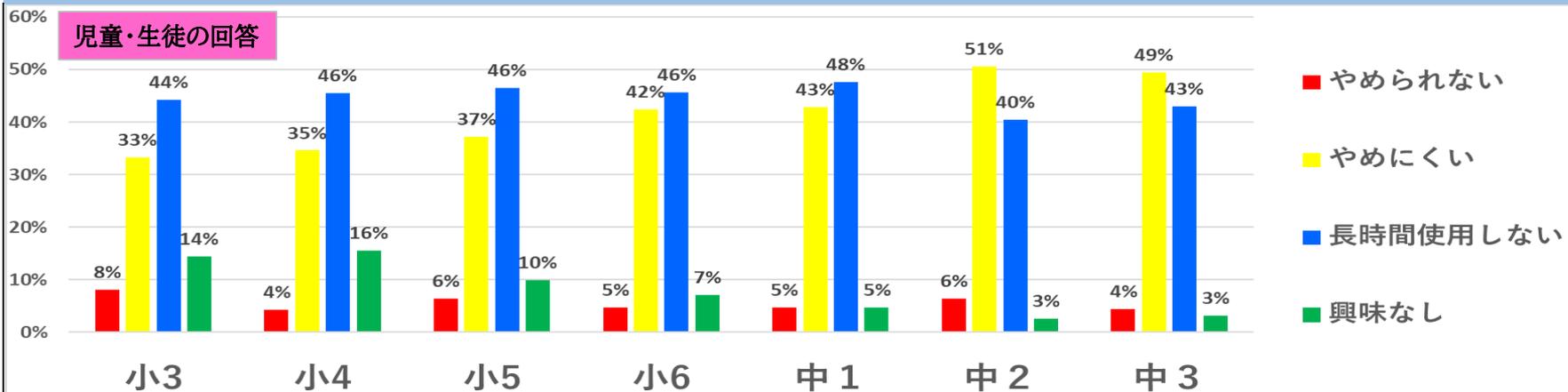


「保護者が相手と対応」が一番多く、次に「知人」「学校」に相談するが続く。子どもの成長に伴ってトラブルの複雑さや深刻さが増す可能性があり、保護者の対応が変化する傾向がみられる。

## 問⑩お子様はスマートフォンやゲーム、インターネット等にどのくらい夢中になっていますか？

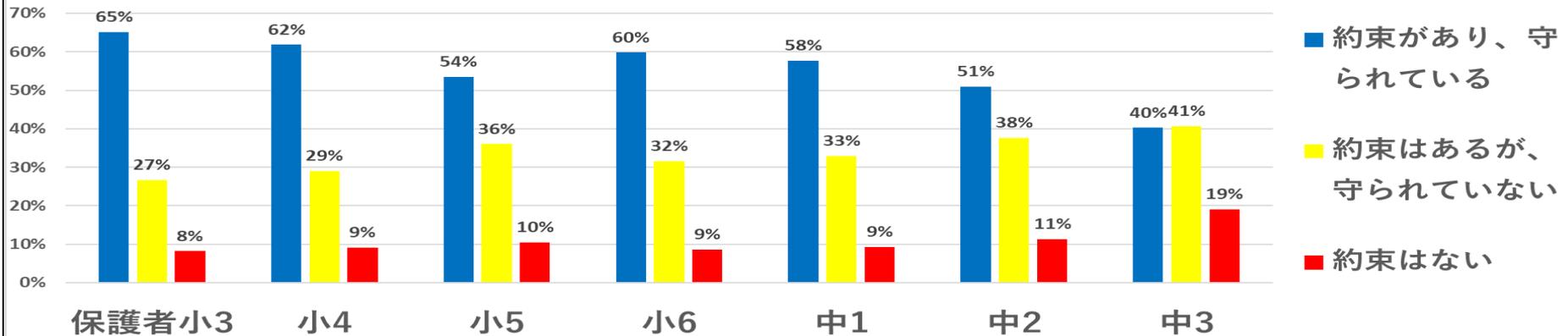


## あなたは、スマホ、ゲーム、インターネットに、どのくらい夢中になっていますか？

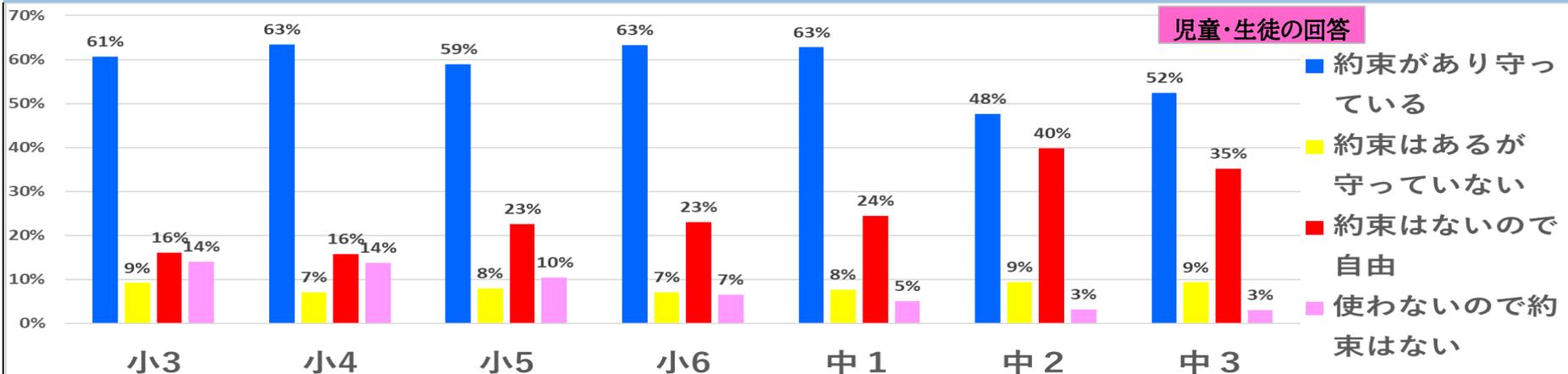


全学年保護者の1割以上が「夢中になりすぎており、やめられない」と回答しており、ネット依存になっている可能性が大きいと考えられる。どの学年においても子どもと保護者に誤差があり、子どもは保護者が思っているほど自覚がない。

問⑩お子様のインターネットやゲーム機等の使用について、家庭での約束があり、守られていますか？



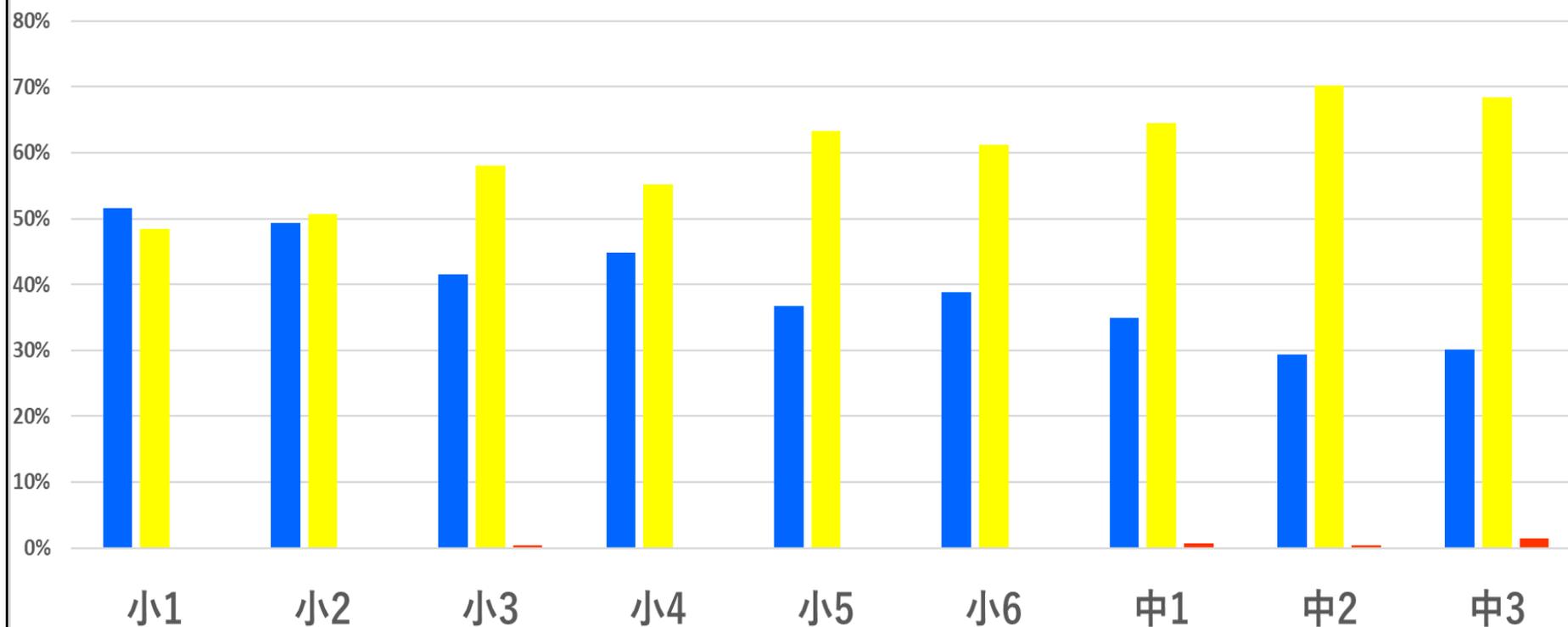
スマホやタブレット、ゲーム機を使うときのお家の人との約束はありますか？



保護者の8~19%が「約束はない」と回答しているが、子どもたちは16~40%「約束はない」と思っており、約2倍の回答がある。保護者と子どもで「約束」の認識にズレがみられ、大切さを含めて啓発が必要と考えられる。

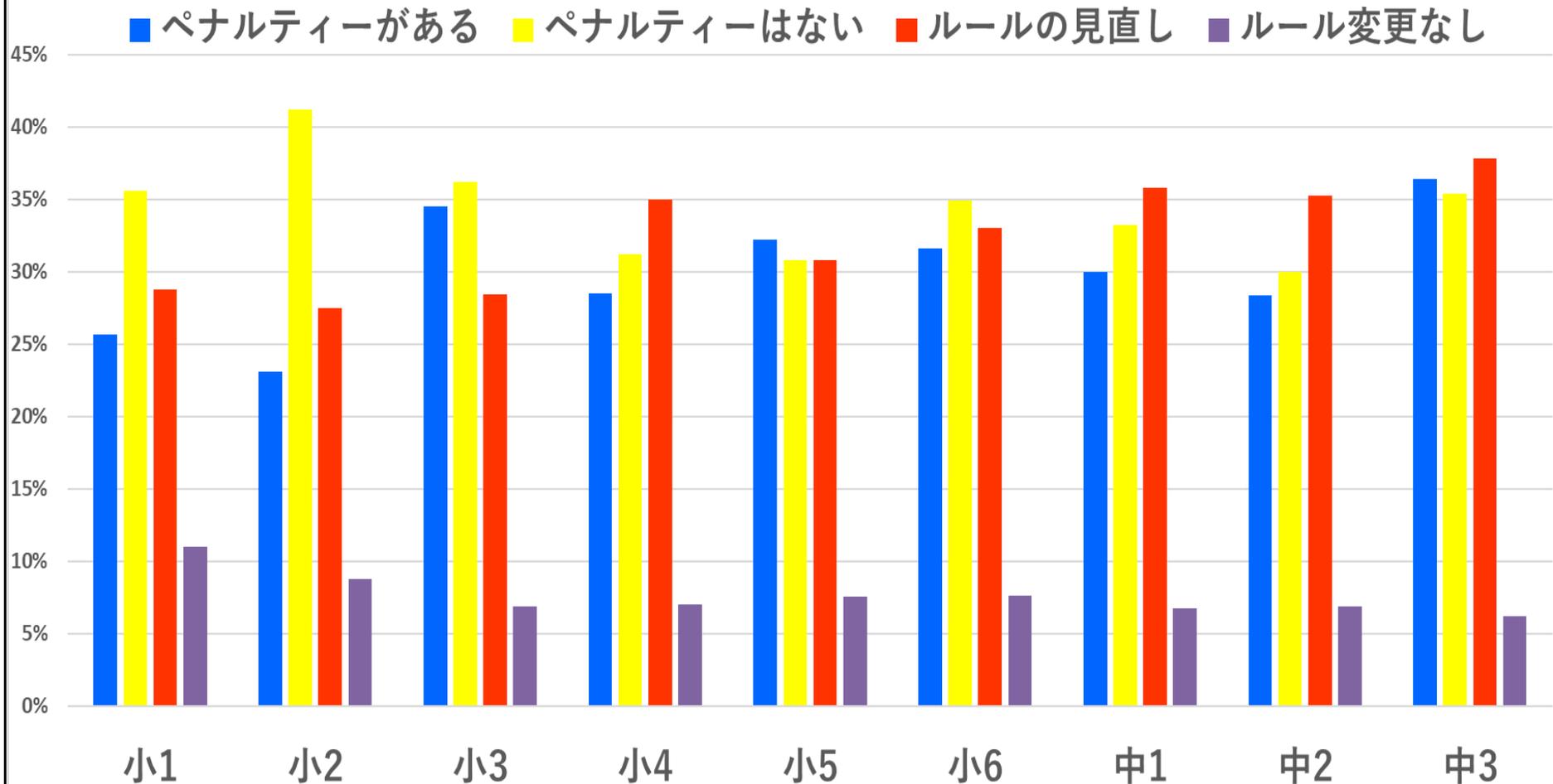
## 問⑪-1家庭での約束はどのように決めましたか？

■ 親が全部決めた      ■ 親子で話し合っただめた      ■ 子どもが全部決めた



学年が上がると子どもが自分の意見を持ち始め、親子の話し合いを通じて家庭内のルールや約束を共同で決めることが重要とされていることが反映されている。

## 問⑪-2 家庭での約束についてお聞きします



ペナルティーの有無にあまり大差はない。子どもが成長するにつれて、ルールの見直しを重視する傾向が見られる。

## 問⑫時間制限やアプリの制限など、ペアレンタルコントロールをしていますか？

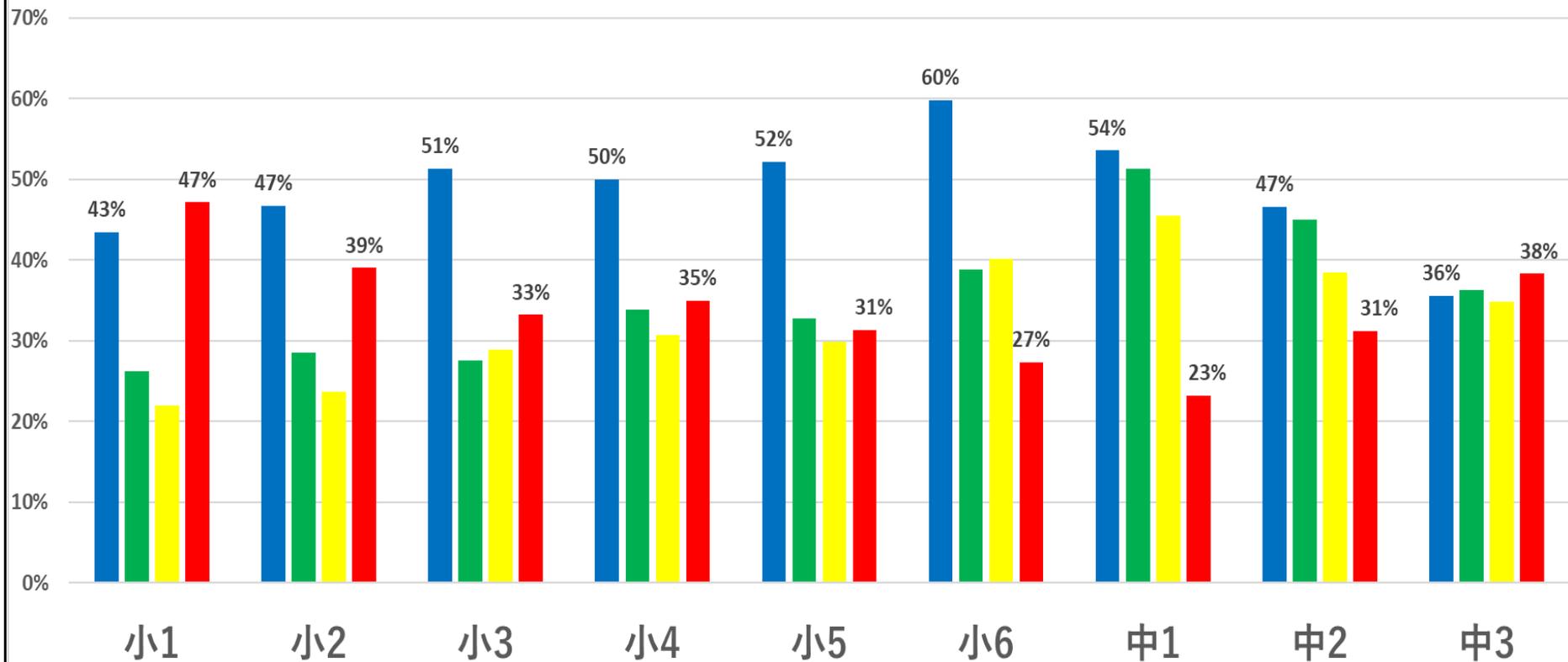
■ 利用時間を制限している

■ 使えるアプリを制限している

複数回答あり

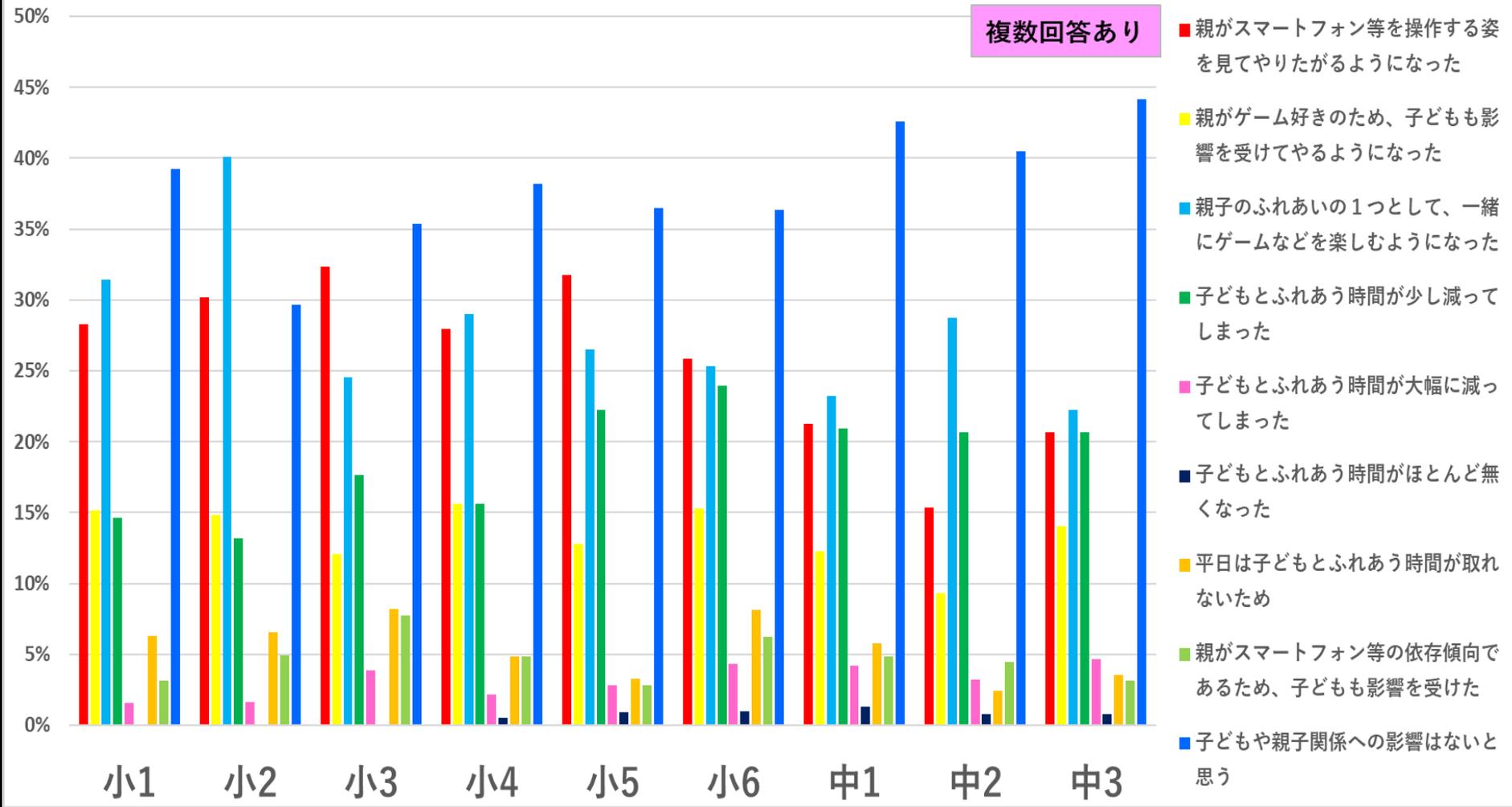
■ 閲覧できるウェブサイトを制限している

■ ペアレンタルコントロールはしていない



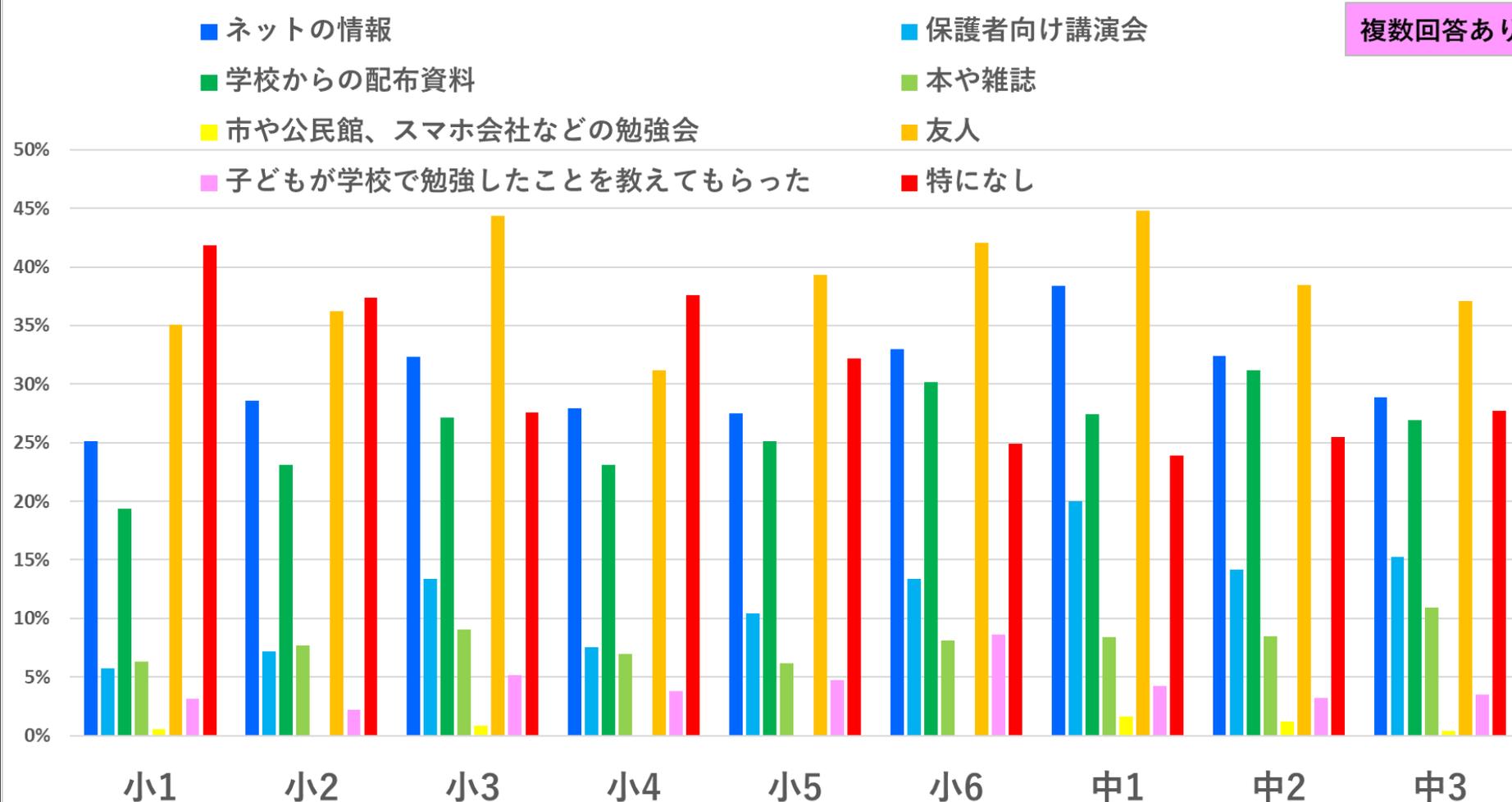
小1から中1にかけて、ペアレンタルコントロールを使用する割合が徐々に増加する。中2から使用率が減少することから、思春期におけるインターネット使用に対する注意が必要。

問⑬親のスマホ、タブレット、ゲーム機等の使用によって、子どもや親子関係への影響が出ていると思うことはありますか？



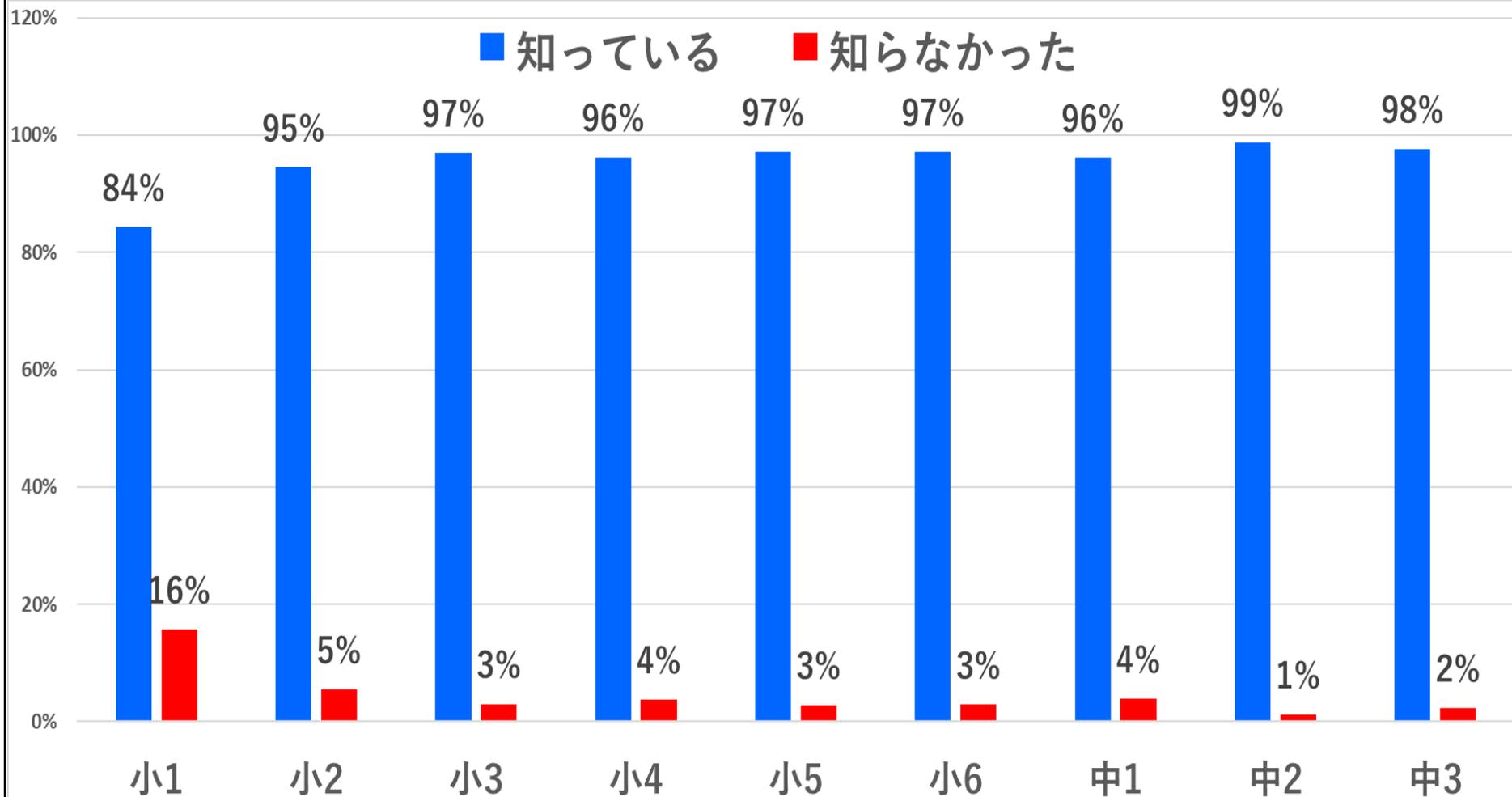
約4割の保護者は「影響はない」と回答。影響があると感じている児童保護者は「親がスマホ等を操作する姿をみてやりたがる」が最も多い。親子のふれあいの1つとして活用することも多いが、同じくらい「子どもとふれあう時間が減っている」と回答。

## 問⑭お子様のスマホ利用について考えるときに参考にしたことはありますか



保護者は主にネットや友人から情報を得ており、学校からの情報も一定の影響を持っている。約3割の保護者が特に情報を参照しておらず、信頼性の高い情報提供の場を増やす取り組みが必要。

問⑮野々市市では毎月第1水曜日を「NOネット、NOゲーム、NOテレビデー」としています。この取り組みをご存知ですか？



月に一度、インターネットやゲーム、テレビをやめて家族でゆっくり会話や読書を楽しむ日ですが、ほとんどの保護者はこの取り組みを知っていると回答。今後も更に取り組んでもらえるよう啓発を続けていく必要がある。